履修年度	1	2022			
		2023			
担当教員 連番		田中博史			
期間 唯口,时间	氏• 用	月曜日 2 時限 後期			
	·	後期			
授業形態		講義			
分野系列		<選択科目(専門)>			
学年		2年生			
単位		2			
開講キャンパス		東松山			
科目ナンバリング		スポーツシンリガク			
科目とDPの関連		Sports Psychology			
備考					
最終更新	iB	2022/12/6 11:57			
授業の概要		スポーツ心理学は、スポーツに関する人間の心理的現象を扱う心理学の一領域として位置づけられ、「スポーツスキルの制御と学習」「パーソナリティー」などの心理学的基礎から「競技者・指導者の心理」「メンタルトレーニング」などの競技力向上を目的とした内容が含まれる. 本講義では、スポーツに関する心理学的諸事について広範囲に学習し、スポーツにおける「こころ」の重要性を理解し、それを「からだ」の諸現象と関連させることによって、様々なスポーツ場面で良好な活動を推進する			
授業の到達目標		ための心理学的アプローチについて探求する. (1) スポーツにおけるスキルの学習,発育発達,パーソナリティーについて説明できる. (2) スポーツ実施者の心理面について評価することができる. (3) スポーツにおける諸活動に影響を及ぼす心理的諸原則について説明できる.			
DP一覧表	長				
授業の方	式	対面方式			
授業の方法		・講義形式で行う			
3237075	- =	・各回で使用する資料はmanabaを通じて配布する			
		特徴	該当有無		
		A:企業や自治体と連携した課題解決型学習(PBL)			
		A:企業や自治体と連携した課題解決型学習(PBL) B:討議(ディスカッション、ディベート等)			
		B:討議(ディスカッション、ディベート等) C:グループワーク			
		B:討議(ディスカッション、ディベート等)			
		B:討議(ディスカッション、ディベート等) C:グループワーク			
極業の大	*	B:討議(ディスカッション、ディベート等) C:グループワーク D:プレゼンテーション			
授業の方	法②	B:討議(ディスカッション、ディベート等) C:グループワーク D:プレゼンテーション E:実習、フィールドワーク			
授業の方法	法 ②	B:討議(ディスカッション、ディベート等) C:グループワーク D:プレゼンテーション E:実習、フィールドワーク F:双方向授業(ICT活用あり:グリッカー、DBmanaba等)			
授業の方	法②	B: 討議(ディスカッション、ディベート等) C: グループワーク D: プレゼンテーション E: 実習、フィールドワーク F: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、DBmanaba等) G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)			
授業の方法	法②	B: 討議(ディスカッション、ディベート等) C: グループワーク D: プレゼンテーション E: 実習、フィールドワーク F: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、DBmanaba等) G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等) H: 授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う(反転授業) I: 外国語のみで行われる授業			
授業の方法	法 ②	B: 討議(ディスカッション、ディベート等) C: グループワーク D: プレゼンテーション E: 実習、フィールドワーク F: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、DBmanaba等) G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等) H: 授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う(反転授業) I: 外国語のみで行われる授業 J: インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業			
授業の方	法②	B: 討議 (ディスカッション、ディベート等) C: グループワーク D: プレゼンテーション E: 実習、フィールドワーク F: 双方向授業 (ICT活用あり: クリッカー、DBmanaba等) G: 双方向授業 (ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等) H: 授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う(反転授業) I: 外国語のみで行われる授業 J: インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業 K: 統一試験結果に基づくクラス編成による授業			
授業の方法	法②	B: 討議 (ディスカッション、ディベート等) C: グループワーク D: プレゼンテーション E: 実習、フィールドワーク F: 双方向授業 (ICT活用あり: クリッカー、DBmanaba等) G: 双方向授業 (ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等) H: 授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う(反転授業) I: 外国語のみで行われる授業 J: インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業 K: 統一試験結果に基づくクラス編成による授業 L: 少人数クラス編成による授業			
授業の方	法②	B: 討議 (ディスカッション、ディベート等) C: グループワーク D: プレゼンテーション E: 実習、フィールドワーク F: 双方向授業 (ICT活用あり: クリッカー、DBmanaba等) G: 双方向授業 (ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等) H: 授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う(反転授業) I: 外国語のみで行われる授業 J: インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業 K:統一試験結果に基づくクラス編成による授業 L: 少人数クラス編成による授業 M: 国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業			
授業の方	法②	B: 討議 (ディスカッション、ディベート等) C: グループワーク D: プレゼンテーション E: 実習、フィールドワーク F: 双方向授業 (ICT活用あり: クリッカー、DBmanaba等) G: 双方向授業 (ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等) H: 授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う(反転授業) I: 外国語のみで行われる授業 J: インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業 K: 統一試験結果に基づくクラス編成による授業 L: 少人数クラス編成による授業	担当教員		
授業の方		B: 討議 (ディスカッション、ディベート等) C: グループワーク D: プレゼンテーション E: 実習、フィールドワーク F: 双方向授業 (ICT活用あり: クリッカー、DBmanaba等) G: 双方向授業 (ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等) H: 授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う(反転授業) I: 外国語のみで行われる授業 J: インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業 K:統一試験結果に基づくクラス編成による授業 L: 少人数クラス編成による授業 M: 国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業	担当教員		
授業の方法	法② 第1回	B: 討議(ディスカッション、ディベート等) C: グループワーク D: プレゼンテーション E: 実習、フィールドワーク F: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、DBmanaba等) G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等) H:授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う(反転授業) I: 外国語のみで行われる授業 J: インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業 K:統一試験結果に基づくクラス編成による授業 L: 少人数クラス編成による授業 M: 国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業			
授業の方		B: 討議 (ディスカッション、ディベート等) C: グループワーク D: プレゼンテーション E: 実習、フィールドワーク F: 双方向授業 (ICT活用あり: クリッカー、DBmanaba等) G: 双方向授業 (ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等) H: 授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う(反転授業) I: 外国語のみで行われる授業 J: インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業 K:統一試験結果に基づくクラス編成による授業 L: 少人数クラス編成による授業 M: 国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業 授業内容 ガイダンス	田中博史		
授業の方		B:討議 (ディスカッション、ディベート等) C:グループワーク D:プレゼンテーション E:実習、フィールドワーク F:双方向授業 (ICT活用あり:グリッカー、DBmanaba等) G:双方向授業 (ICT活用なし:対話型、リアクションペーパー等) H:授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う(反転授業) I:外国語のみで行われる授業 J:インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業 K:統一試験結果に基づくクラス編成による授業 L:少人数クラス編成による授業 M:国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業 授業内容 ガイダンス 準備学修 (予習・復習等)	田中博史 必要な時間		
授業の方法	第1回	B:討議(ディスカッション、ディベート等) C:グループワーク D:プレゼンテーション E:実習、フィールドワーク F:双方向授業(ICT活用あり:グリッカー、DBmanaba等) G:双方向授業(ICT活用なし:対話型、リアクションペーパー等) H:授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う(反転授業) I:外国語のみで行われる授業 J:インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業 K:統一試験結果に基づくクラス編成による授業 L:少人数クラス編成による授業 M:国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業 授業内容	田中博史 必要な時間 4時間 担当教員		
授業の方		B: 討議 (ディスカッション、ディベート等) C: グループワーク D: プレゼンテーション E: 実習、フィールドワーク F: 双方向授業 (ICT活用あり: クリッカー、DBmanaba等) G: 双方向授業 (ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等) H: 授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う(反転授業) I: 外国語のみで行われる授業 J: インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業 K:統一試験結果に基づくクラス編成による授業 L: 少人数クラス編成による授業 M: 国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業 授業内容 おイダンス 準備学修 (予習・復習等) スポーツ心理学に関する書籍を読むこと 授業内容	田中博史 必要な時間 4時間 担当教員 田中博史		
授業の方	第1回	B:討議(ディスカッション、ディベート等) C:グループワーク D:プレゼンテーション E:実習、フィールドワーク F:双方向授業(ICT活用あり:グリッカー、DBmanaba等) G:双方向授業(ICT活用なし:対話型、リアクションペーパー等) H:授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う(反転授業) I:外国語のみで行われる授業 J:インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業 K:統一試験結果に基づくクラス編成による授業 L:少人数クラス編成による授業 M:国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業 授業内容 ガイダンス 準備学修(予習・復習等) スポーツ心理学に関する書籍を読むこと 授業内容 スポーツと心 準備学修(予習・復習等)	田中博史 必要な時間 4時間 担当教員 田中博史 必要な時間		
授業の方	第1回	B:討議 (ディスカッション、ディベート等) C:グループワーク D:プレゼンテーション E:実習、フィールドワーク F:双方向授業 (ICT活用あり:グリッカー、DBmanaba等) G:双方向授業 (ICT活用なし:対話型、リアクションペーパー等) H:授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う(反転授業) I:外国語のみで行われる授業 J:インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業 K:統一試験結果に基づくクラス編成による授業 L:少人数クラス編成による授業 M:国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業 授業内容	田中博史 必要な時間 4時間 担当教員 田中博史 必要な時間 4時間		
授業の方	第1回	B:討議 (ディスカッション、ディベート等) C: グループワーク D: プレゼンテーション E: 実習、フィールドワーク F: 双方向授業 (I C T 活用あり: クリッカー、DBmanaba等) G: 双方向授業 (I C T 活用なし: 対話型、リアクションペーパー等) H: 授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う(反転授業) I: 外国語のみで行われる授業 J: インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業 K:統一試験結果に基づくクラス編成による授業 L: 少人数クラス編成による授業 M: 国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業 授業内容 ガイダンス 準備学修 (予習・復習等) スポーツ心理学に関する書籍を読むこと 授業内容 スポーツと心 準備学修 (予習・復習等) 講義内容を読み返し理解を深めるとともに、次回の資料に目を通しておくこと 授業内容	田中博史 必要な時間 4時間 担当教員 田中博史 必要な時間 4時間 4時間 4時間		
授業の方	第1回	B: 討議 (ディスカッション、ディベート等) C: グループワーク D: プレゼンテーション E: 実習、フィールドワーク F: 双方向授業 (I C T 活用あり: クリッカー、DBmanaba等) G: 双方向授業 (I C T 活用なし: 対話型、リアクションペーパー等) H: 授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う(反転授業) I: 外国語のみで行われる授業 J: インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業 K: 統一試験結果に基づくクラス編成による授業 L: 少人数クラス編成による授業 M: 国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業 授業内容 ガイダンス 準備学修 (予習・復習等) スポーツ心理学に関する書籍を読むこと 授業内容 スポーツと心 準備学修 (予習・復習等) 講義内容を読み返し理解を深めるとともに、次回の資料に目を通しておくこと 授業内容 スポーツスキルの制御と学習	田中博史 必要な時間 4時間 担当教員 田中博史 必要な時間 4時間 4時間 4時間 4時間 4時間 4時間 田中博史		
授業の方	第1回	B: 討議 (ディスカッション、ディベート等) C: グループワーク D: プレゼンテーション E: 実習、フィールドワーク F: 双方向授業 (I C T 活用あり: クリッカー、DBmanaba等) G: 双方向授業 (I C T 活用なし: 対話型、リアクションペーパー等) H: 授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う (反転授業) I: 外国語のみで行われる授業 J: インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業 K:統一試験結果に基づくクラス編成による授業 L: 少人数クラス編成による授業 M: 国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業 授業内容 ガイダンス 準備学修 (予習・復習等) スポーツ心理学に関する書籍を読むこと 授業内容 スポーツと心 準備学修 (予習・復習等) 講義内容を読み返し理解を深めるとともに、次回の資料に目を通しておくこと 授業内容 スポーツスキルの制御と学習 準備学修 (予習・復習等)	田中博史		
授業の方	第1回	B: 討議 (ディスカッション、ディベート等) C: グループワーク D: プレゼンテーション E: 実習、フィールドワーク F: 双方向授業 (I C T 活用あり: クリッカー、DBmanaba等) G: 双方向授業 (I C T 活用なし: 対話型、リアクションペーパー等) H: 授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う(反転授業) I: 外国語のみで行われる授業 J: インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業 K: 統一試験結果に基づくクラス編成による授業 L: 少人数クラス編成による授業 M: 国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業 授業内容 ガイダンス 準備学修 (予習・復習等) スポーツ心理学に関する書籍を読むこと 授業内容 スポーツと心 準備学修 (予習・復習等) 講義内容を読み返し理解を深めるとともに、次回の資料に目を通しておくこと 授業内容 スポーツスキルの制御と学習	田中博史 必要な時間 4時間 担当教員 田中博史 必要な時間 4時間 4時間 4時間 4時間 4時間 4時間 田中博史		

	77.45	スポーツスキルの効果的な学習法	田中博史	
	第4回		準備学修(予習・復習等)	必要な時間
			講義内容を読み返し理解を深めるとともに,次回の資料に目を通しておくこと	4時間
			授業内容	担当教員
		_	スポーツと発育発達	田中博史
	第5	回	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
			講義内容を読み返し理解を深めるとともに、次回の資料に目を通しておくこと	4時間
			授業内容	担当教員
			スポーツと社会心理	田中博史
	第6回		準備学修(予習・復習等)	必要な時間
			講義内容を読み返し理解を深めるとともに、次回の資料に目を通しておくこと	4時間
			授業内容	担当教員
				田中博史
	第7	'回	スポーツとパーソナリティー	
			準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	第8回		講義内容を読み返し理解を深めるとともに、次回の資料に目を通しておくこと	4時間
			授業内容	担当教員
授業		:	パーソナリティー評価の実際	田中博史
計画			準備学修(予習·復習等)	必要な時間
			講義内容を読み返し理解を深めるとともに、次回の資料に目を通しておくこと	4時間
			授業内容	担当教員
) 第9	0	コーチングの心理	田中博史
	7,5	-	準備学修(予習·復習等)	必要な時間
			講義内容を読み返し理解を深めるとともに、次回の資料に目を通しておくこと	4時間
			授業内容	担当教員
	** 4		スポーツとモチベーション	田中博史
	第1	ᄱ	準備学修(予習·復習等)	必要な時間
			講義内容を読み返し理解を深めるとともに,次回の資料に目を通しておくこと	4時間
			授業内容	担当教員
	第11回	. —	スポーツメンタルトレーニングの概要	田中博史
		1回	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
				4時間
			授業内容	担当教員
			スポーツメンタルトレーニングの実際	田中博史
	第1	2回	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
			講義内容を読み返し理解を深めるとともに、次回の資料に目を通しておくこと	4時間
		授業内容	担当教員	
		スポーツコンディショニング	田中博史	
	第1	3回	************************************	必要な時間
			4時間	
			講義内容を読み返し理解を深めるとともに,次回の資料に目を通しておくこと	
		授業内容	担当教員	
	第14回	健康スポーツにおけるスポーツ心理学	田中博史	
			準備学修(予習・復習等)	必要な時間
			講義内容を読み返し理解を深めるとともに、次回の資料に目を通しておくこと	4時間
			授業内容	担当教員
	- مع		授業内容に関するまとめと評価	田中博史
	第1	5回	準備学修(予習·復習等)	必要な時間
			授業全体の内容が自身の今後のスポーツ活動にどのように活かされるのかについ	4時間
			てまとめること	
_ . •	N. 		毎時間授業の冒頭に課題を行い、その都度フィードバックする.	
ノイードハ	フィードバックの方法		必要に応じてDBmanabaを使用してフィードバックする.	
教科書			特定のテキストは使用しない、教員オリジナルの資料を配付する。	
参考文献	状など		なし	
	評価方法	割合(%)	評価基準	
-	筆記試験		期末テストの結果	
成績評	実技評価		特になし	
1叫い刀	. +º L == /=		授業内レポート	
法.其淮	2 P. PM	,	personal art (1) 1	

△ 坐干	平常点評価	10	授業への参加態度
	その他	0	欠席が全授業回数の3分の1を超えた場合は、自動的に評価の対象外とする.
履修上の注意			スポーツ選手に関する話題を新聞・ニュース等で確認しておくこと.
理給亢・理給力法はと			研究室: 東松山キャンパス9号館1階104号教室
			E-mail:tanakah@ic.daito.ac.jp
実務経験①			なし
実務経験②			なし
その他			特になし